



平成 27 年 4 月
第 120 号
編集 成田

サンショウにゆうす

(発行)2015 年 4 月

秋田市山王沼田町6-29
カルディア山王1階
TEL:018-874-7441
FAX:018-863-9870

コミュニケーションロボットによる介護支援サービス実証実験

東京都西東京市の特別養護老人ホームで、コミュニケーション・ロボットによる「**高齢者支援サービス**」の実証実験が開始されました。

- ・NTT データと社会福祉法人東京聖新会、ユニバーサルアクセシビリティ評価機構の三者が共同実施。
- ・大阪府のヴィストンのコミュニケーション・ロボット「**Sota**」を使用。
- ・ロボットが入居者と対話したデータは各種センサーを通じてネットワーク伝送
- ・データ解析によって**自然な声がけや対話内容へと変化**。
- ・実験に参加するのは、入居する高齢者2名をはじめ、介護職員4名、ケアマネジャー2名、医師1名、看護師1名。
- ・今回の実証実験の終了後は、6月より在宅環境で新たな実証実験を行う予定で、2016年度の商用化が目標。

いよいよコミュニケーション・ロボットによる**安否確認**や**転倒予防****服薬確認**などが実現するのでしょうか。今後の展開も見逃せないニュースの一つですね。



脳波でコミュニケーション!?

近畿大学生物理工学部の研究グループで、脳波を使ってコンピュータ機器を操作する技術「**ブレイン・マシン・インターフェイス**」の分野で新技術を開発したことを発表しました。

頭にわずか3つの電極を付け、動作を思い浮かべるだけでコンピュータ機器の操作ができ、「はい/いいえ」などの**意思を表現**できます。

重介護で寝たきりの状態になったりすると「話す」「頷く」などの**意思表示**ができなくなることは珍しいことではありませんが、言葉でのコミュニケーションができないからといって、**本人の意志がないわけでは決してありません**。

まだまだ一般の人が使えるようになるまでは時間がかかりそうですが、こうした技術開発が進み、1日でも早く実用化されて欲しいですね。

桜とサクラ

桜は「咲く」に複数の意味する「ら」を加えたものとされ、元は花の密生する植物全体を指したもので、『古事記』に登場する、“木花咲耶姫(このはなさくやひめ)”が語源ともいわれます。主なものは野生種の「**山桜**」と、園芸種の「**染井吉野**」です。

また、役者に声をかけるように頼まれている見物人や購買意欲を誘う偽の客のことも「**サクラ**」といいます。江戸時代の歌舞伎芝居で、役者に頼まれ、タダ見席で「待ちました！」などと山場の場面で声を掛ける人々がいたらしく、これらの人々は、その場面が終われば、**パッと桜が散る**ように居なくなることから「**サクラ**」と言われたとか。

